



NewsLetter

Narita International Friendship Society



No.273

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

成田市には、世界各地から観光客・留学生・ビジネスパーソンなど多様な文化的背景をもつ外国人の方々が成田市を訪れます。そうした中で、人と人が言葉や文化の垣根を越えてつながることの大切さを改めて感じます。

昨年は、恒例イベント「世界の料理を楽しむ会」や「英会話サロン」のほか、「国際交流ひろば」、「日本語サロン」など、さまざまなイベントを皆さまとともに実施することができました。また各種語学講座もご好評いただき、参加者の笑顔や前向きな学びの姿勢は、協会の活動を支える大きな励みとなりました。

本年も、国際都市・成田での国際交流の推進と多文化共生への理解をより一層広げていくため、さまざまな取り組みを進めてまいります。国籍や言語の違いを超え、互いを理解し尊重し合える成田の未来を、皆さまと共に築いていきたいと考えておりますので、会員の皆さまの引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



理事長 品田 等

第3回 多文化交流フェスティバル開催のお知らせ

日本人と外国人が交流し、お互いの文化への理解を深めるため、本年も「成田市多文化交流フェスティバル」が開催されます。世界の文化を五感で楽しめるよう、多くのプログラムが予定されています。

協会も、昨年同様、世界各国の衣装展示やファッションショーなどを実施します。

世界のグルメが楽しめる屋台もあります。会員の皆さまも、ぜひ、遊びにきてください。

日 時：令和8年3月14日（土）午前10時～午後3時

会 場：中央公民館

問合せ：成田市多文化交流フェスティバル実行委員会事務局

（成田市シティプロモーション部文化国際課内 TEL20-1534）

詳細は事務局までお問い合わせください。

あて・ふれて・たのしむ せかいの おんが
ダンスステージ、こらりゅうサロン
にほんおんが たけけん、せかいの いしよ
メヘンディ、アジアンどっか など

成田市多文化交流
Festival
なりたし たんか こうりゅう フェスティバル
3.14 sat 10:00-15:00
ばしょ ちゅうおう こうみんかん（中央公民館）

せかいのグルメたべくらべ
スリランカ・タイ・ペルー
ミャンマー・シンガポール・インド
ネパール・フィリピン

ちゅうおう こうみんかん（じゅうしよ：なりたし あかまが 1-1-3）
・バス JRなりた駅 にしぐち バスのりば11番「もよる成田ニュータウン」から 乗車5分
・くるま、じてんしゃ とめるところ あります

主催：成田市多文化交流フェスティバル実行委員会
電話 成田市シティプロモーション部文化国際課 0476-20-1534

「災害時外国人サポーター養成講座」参加レポート

11月8日(土)、千葉県と成田市主催の「災害時外国人サポーター養成講座」が、もりんぴあこつづにて開催され、参加してまいりました。講座は午前・午後を通して行われ、災害時に外国人が直面しやすい課題、ボランティアの役割、やさしい日本語の使い方、多言語支援センターの機能などについて学びました。



午後はグループワークが中心で、災害発生時の多言語支援センター設置の手順確認や避難所巡回の計画づくり、外国

人被災者への聞き取り対応のシミュレーションなど、実践的な内容に取り組みました。参加者20名が2つのグループに分かれ、初対面ながら協力し合い、限られた時間の中で意見をまとめながら進めていきました。

講義では、千葉県の外国人住民が約23万人(3.6%)に対し、成田市では約1万人(7.7%)と割合が高いことなど、地域の現状も紹介されました。また、観光客や業務従事者が多く滞在する成田市では、平時から情報収集や多言語対応の準備を進めておく重要性を改めて認識する機会となりました。

最後には、実際の避難所巡回を想定した模擬訓練を行い、被災者の聞き取りから情報整理、避難所への報告までを一連で体験しました。講師からの講評を受け、参加者全員が「災害時に誰ひとり取り残さないために、ボランティアとして何ができるか」を考える時間となりました。

今回の講座を通じ、もし自分が海外で被災したらどれほど不安かを想像し、支援する側の役割の大切さを改めて実感しました。今後も多文化共生と防災に寄与できるよう、学びを生かしていきたいと思います。

(協会会員 田村 清之)

～こんなことを学びました！～

*災害時の通訳・翻訳は・・・リソースを使い！

【信頼できる情報ソース】

NHKワールド [Navigating Disasters | NHK WORLD-JAPAN](#)

気象庁 [災害時に便利なアプリとWEBサイト\(多言語\) : 防災情報のページ - 内閣府](#)

*やさしい日本語にするための12の規則

- (1) 難しいことばを避け、簡単な語をつかう。
- (2) 一文を短くして文の構造を簡単にする。文は分かち書きにしてことばのまとまりを認識しやすくする。
- (3) 災害時によく使われることば、知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使う。
- (4) カタカナ・外国語はなるべく使わない。
- (5) ローマ字は使わない。
- (6) 擬態語や擬音語は使わない。
- (7) 使用する漢字や、漢字の使用量に注意する。すべての漢字にルビ(ふりがな)を振る。
- (8) 時間や年月日を外国人にも伝わる表記にする。
- (9) 動詞を名詞化したものは分かりにくいので、できるだけ動詞文にする。
- (10) あいまいな表現は避ける。
- (11) 二重否定の表現は避ける。
- (12) 文末表現はなるべく統一する。

「国際交流ひろば」開催報告



11月5日（水）および22日（土）に、成田市文化芸術センター なごみの米屋 スカイタウンホールにて、協会主催の「国際交流ひろば」を開催しました。

今回が初めての試みとなるこのイベントは、年齢や国籍に関わらず、地域に暮らす全ての人が気軽に立ち寄り、交流を深められる場をつくりたい——そんな思いから企画したものです。

会場には、ヨーヨー釣りや輪投げといった昔ながらの遊びを楽しめるコーナーのほか、初対面でも気軽に参加できるカードゲーム、自由におしゃべりができるリラックススペースなどを設けました。子どもから大人まで、それぞれのペースで楽しめる工夫を凝らしたことで、会場は終始あたたかな雰囲気に包まれていました。

当日は小さなお子さん連れのご家族も多く来場し、ゲームをしながら笑顔で交流する様子があちこちで見られました。また、外国人親子の参加もあり、初めて触れる日本の遊びに興味津々。ヨーヨーを上手に釣り上げて歓声を上げたり、カードゲームを通して自然に会話が生まれたりするなど、国籍を越えたつながりが生まれていました。

このイベントの開催にあたっては、ボランティアの皆さんが、準備から運営まで熱心に携わってくださり、参加者が安心して楽しめる場づくりに大きく貢献してくださいました。

ご協力いただいた皆さま、そしてご来場いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も、誰もが気軽に集い、笑顔になれる交流の場を育んでいきたいと考えています。

～参加者の声～

- ・以前から国際交流協会に興味があり、活動内容について聞くことができ良かった
- ・子供が気軽に楽しめるイベントで良かった
- ・駅近くで子連れでも参加しやすかった
- ・なかよしひろば（もりんぴあ内）はよく利用しているが、他の場所で子供と一緒に気軽に参加できるイベントがあり嬉しかった





参加者募集!

えいごであそぼう!

歌を歌ったり、体を動かしたり遊んだりしながら、楽しく英語にふれてみませんか??
英語が初めてのお子さんや、英語に自信がない保護者の方でも大丈夫。ゲームや簡単なフレーズを通して、笑顔で英語を楽しめる時間です。

「ちょっと英語にふれてみたい」「親子で楽しい時間を過ごしたい」という方、大歓迎!

日 時：3月27日(金)、28日(土) 13:15~14:45 両日内容は同じ
場 所：もりんぴあこづ (公津の杜 4-8) 定 員：各回 30 名
申込み：協会事務局まで電話もしくはメールにて (先着順) 講 師：市内 ALT
対 象：未就学児~小学生 ※(未就学児は保護者同伴のこと) 参加費：無料

英会話サロン 参加者募集!

会員限定

ドリンク片手にスイーツをいただきながら、気さくな雰囲気の中で英会話を楽しみませんか?
初めての方の参加も大歓迎です。英語が苦手な方でも、ゆっくり会話を楽しめる内容です。
笑顔あふれる、和やかなひとときを一緒に過ごしましょう。

日 時：3月20日(金・祝) 10:30~12:00 場 所：ばん茶屋(成田市上町 551)
申込み：事務局 Tel.23-3231 定 員：15 名
参加費：700 円 講 師：市内 ALT 他

令和 8 年度国際交流事業及び友好都市交流事業助成金の申請について

令和 8 年度中に助成制度を利用される団体は、下記期間内に必要書類を成田市国際交流協会までご提出ください。

申請期間・・・令和 8 年 3 月 2 日 (月) ~ 3 月 31 日 (火) (必着)

交付決定：令和 8 年 5 月中旬 (予定)

※ 助成制度の詳細、申請書類等については、事務局までお問い合わせください。

【編集後記】

最近、日本で働く外国人の労働者をよくみかけるようになりました。少子高齢化による人手不足やグローバル化の進展で、外国人の数が増える傾向にあるなか、多文化共生の実現の重要性が高まっています。11 月には「災害時外国人サポーター養成講座」が実施されましたが、災害時のような非常事態においてコミュニケーションが円滑におこなわれるように、外国人に寄り添った情報を提供することが大切です。(Dye)

[編集・発行] 成田市国際交流協会広報部会(〒286-8585 成田市花崎町 760 成田市役所文化国際課内)

Tel:0476-23-3231/Fax:0476-22-4494/E-mail: nifs@ngy.3web.ne.jp

